

社会資本総合整備計画

いな 稲むらの火 ひ 街道 かいどう 沿線 えんせん 地区 ちく 都市 とし 再生 さいせい 整備 せいび 計画 けいかく  
(だい 第1回 かい 変更 へんこう)

わかやまけんひろがわちよう  
和歌山県広川町

平成30年9月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年09月26日

計画の名称	稲むらの火街道沿線地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広川町												
計画の目標	「広川町」の「稲むらの火」に代表される特有の歴史的資源を活かした観光周遊の創造と生活環境向上による魅力的で活気あるまちづくり 目標1 歴史的資源と観光を結びつけた活気あるまちづくり 目標2 町内外の幅広い世代が利用できる便利で居心地の良い公共空間の創造により、地域住民交流の活性化を図るとともに、祭礼などの伝統文化の継承に繋げる												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	718	A	718	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28年度末)	中間目標値 H32	最終目標値 H34末
1	(1) 観光客数を増加させる。 観光客数(年間)	163012人/年	175000人/年	180000人/年
2	(2) 主要施設(観光交流センター、地域交流センター)の年間利用者数を増加させる。 主要集客施設利用者数(年間) 当初現況値は既設の「なごみ交流センター図書室」平成28年度実績	8710人/年	15000人/年	18930人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	広川町	直接	広川町	-	-	稲むらの火街道沿線地区 都市再生整備計画	道路整備、高次都市施設整備	広川町						718		未策定
												小計						718	
											合計						718		

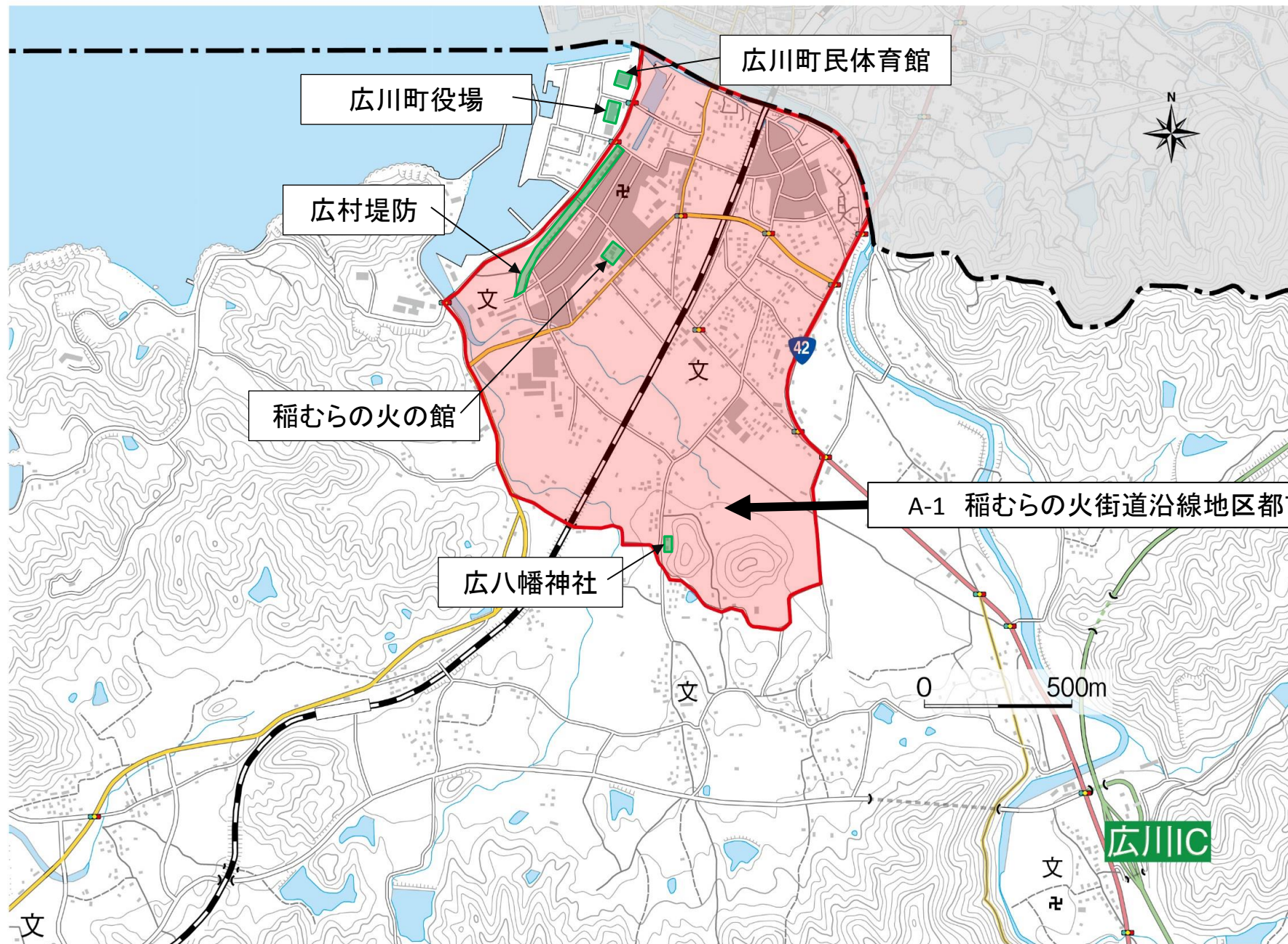
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	55,500				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	55,500				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	15,234				
翌年度繰越額 (f)	40,266				
うち未契約繰越額 (g)	16,427				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	29.59				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	道路法線について了解が得られず、測量設計の着手に不測の日数を要したため。 また、地元協議が難航し、設計業務の実施計画に遅れが生じたため。				

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	稲むらの火街道沿線地区都市再生整備計画	交付対象	和歌山県、広川町
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)		



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 稲むらの火街道沿線地区都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

